

## 20231215 連合神奈川青年委員会第34回定期総会



連合神奈川青年委員会は、かながわ県民ホールにて『第34回定期総会』が開催され、構成する産別から54名の代議員が出席、運輸労連からは、4名の代議員が出席しました。2023年度活動報告・会計報告が承認され、第1号議案及び第2号議案が可決・承認され、第3号議案が採択されました。松本委員長(青年委員会)は、1年を振り返りコロナ禍の中での活動や、4月の統一地方選挙では、井戸前副委員長が当選をはたしたこと、レクリエーションや学習会を通じ充実した活動が出来ました。と振り返りました。



連合神奈川を代表し、林会長よりあいさつがありました。林会長は、労働力不足や高齢化、人口の4割が65歳となる時代。外国人の雇用・AI・ロボット化。技術の進歩により、AIに雇われていたり、労働組合がAI化していたりと、どのように変わっていくのか？。連合神奈川では、『新しいステージに向けて、運動のモデルチェンジをしていく。NET社会への対応は急務な課題。情報の共有化を図るためにも、HPに青年委員会のページがあり、その活用をお願いしたい。青年層からのメッセージ、政治や社会に対しての提案などにも取り組んでほしい。』と述べました。

2023年度活動報告及び会計報告を徳留・照井副委員長より報告がされました。

各種活動の展開は「明るく・楽しく・元気よく学ぶ!」をコンセプトに、参加者の共感が得られる活動と行事を実施しました。企画立案に際しては、従来の〈組織 学習班〉〈広報・文レク班〉の2班



体制を見直し、幹事会を通じて役員全員で協議することで青年委員会ならではの柔軟な発想による活動を展開しました。幹事会については集合を原則とし、状況に応じてWEBを併用して実施しました。役員研修については、昨年に引き続き脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの導入が急務となっていることから、地熱発電施設が集積している鹿児島県内で開催しました。また、コロナ禍で4年間実施できていなかった家族参加型イベントとして『ロマンスカーミュージアムへGO!』を開催し、構成産別の組合員とその家族が楽しめる企画を実施しました。秋の学習会では前青年委員会副委員長の井土清貴川崎市議会議員を講師に招き、『政治と労働組

合とのつながり/川崎市議となって考えること』をテーマに学習会を開催しました。引き続き、連合神奈川の運動方針のもと「青年委員会だからできる活動」を展開します。と述べました。2024 年度活動方針(案)について、佐藤事務局長より提案され、満場一致で採決されました。



新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、世界を大きな混乱の渦に巻き込みましたが、徐々に落ち着きを見せ、After コロナへと転換がはかられました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5 類」になるまでの 3 年間においては、リモートワークの普及やデジタル変革の加速など社会構造の変化をもたらし、これまで組合活動において馴染みの少なかった WEB 会議やリモート参加のイベント導入など、組合活動のスタイルが変容しました。しかし、組合活動における Face-To-Face の取り組みも重要であることから、会議やイベントの開催方法など、今後も活動形態の検討が求められます。

私たちを取り巻く環境は、従前からの課題でもある人口減少や少子高齢化、財政問題、ジェンダー平等や格差・貧困拡大、激甚化する自然災害、グローバル経済進展のもとでのググエコノミーの進展、曖昧な雇用の拡大など依然として課題や問題が山積しています。とりわけ少子高齢化社会に伴う若年層労働者の減少は、技術・技能の継承、事業・サービス品質の維持、職場活力にも大いに影響する深刻な問題と捉えています。

このような中、雇用対策の強化ならびに働きやすい職場環境の整備、持続可能な社会を実現していくためには、働く者や生活者の立場に立った運動とともに、様々な取り組みが極めて重要です。取り巻く環境の変化を常に捉え、先送りにしてきた課題の解決に向けた先見性を持った活動が求められます。

特に労働組合やその役割を知らない青年層が増加している状況下において、労働組合が将来にわたり強固な組織を維持・発展させていくためには、次代を担う青年層の取り組みへの参画や問題意識の提言により、労働運動を力強く推し進めていく必要があります。

私たち連合神奈川青年委員会は、連合神奈川の運動方針のもと、時代に沿った新しい活動形態の実践による青年層の活性化によって、労働組合の求心力と社会的価値を高めるため「青年委員会だからできる運動」を常に意識するとともに、「未来へいどむ!」との明確な意思ビジョンをもった活動を積極的かつ果敢に挑戦し続けることとします。

〈基本的な考え方〉

連合神奈川の運動方針に掲げられた「スケールメリットを發揮したイベントの企画」「構成産別における活動の共有化と課題意識の把握」を基本として青年層のニーズに沿った各種イベントの実践に向けて、コロナ禍で得た経験と柔軟な発想・創意工夫をもって、魅力ある活動を企画し積極的に展開します。なお、各種活動は「明るく・楽しく学ぶ!」をコンセプトとして、参加者が共感の得られる活動と行事を継続して開催します。

また、次代を担う青年層の資質を養うため、「社会全体に目を向けて、労働組合の社会的価値を高める運動」を常に意識しながら、継続性をもった企画を実践します。



今回の総会で、多くの役員・幹事が入れ代わりました。

新委員長として、佐藤委員長(UAゼンセン)が選出され、新たなステージで1年間の活動が始まる。若い世代の発信力に期待をしたい。

※第2号議案にて確認してほしい。

今期で退任される役員・幹事の皆さんと、新しく役員・幹事になられる方から一言ずつあいさつがされました。

退任される方には、多くの活動のけん引役！ご苦労様でした。

次のステージでも活躍してください。

又、運輸労連からは池田さん(楠原輸送労組)が新しく幹事となりました。

佐藤新委員長の『団結ガンバロー』三唱にて終了しました。